

平成 25 年度第 6 回（123 回）

清瀬市まちづくり委員会議事要旨

日 時：平成 25 年 12 月 24 日（火）午後 2 時から

場 所：中清戸地域市民センター第 1 会議室

出席者：野島和季子、河原守、真田美那子、菊池義昭、小川弥栄子、菊谷隆、
林光夫、吉岡袈裟喜、山本強、鬼澤義信、柴田正子、車崎祥子、鈴木
紀子

事務局（企画課長、市民協働係長、企画課主事）

欠席者：原田輝雄、長谷部勝也、齊藤しのぶ、石津和幸、星野芙美子、竹森菜
摘、法性由紀枝

<配布資料>

- 1 平成 25 年度第 6 回（第 123 回）清瀬市まちづくり委員会次第
- 2 平成 25 年度第 5 回（第 122 回）清瀬市まちづくり委員会議事要旨
- 3 提案「市に観光課を設置&仮称・観光ガイドボランティアの会の設立」資
料
- 5 提案「猛暑避難場所の運営の見直しを！！」資料
- 6 提案「清瀬情報誌の発行配布を！」

1 開会

2 前回の確認

委員長：前回の議事要旨について、この内容で良いか。

<委員了承>

事務局：提案「市に観光課を設置&仮称・観光ガイドボランティアの会の設立」
について、提案者より補足の資料を配布する。またこの提案について
の資料、過去の市報や議事要旨を添付している。

3 提案審議

委員長：提案「市に観光課を設置&仮称・観光ガイドボランティアの会の設立」

の補足資料の解釈としては観光課以外に観光ボランティア養成講座の設置を提案するものであると考える。

委員：先に観光がどのようなものがあるかを明確にしなければ、ボランティアについて議論しても良くないと思う。

委員：この提案は市の観光資源を整理する必要がある。またボランティアの設置となると予算の問題が発生してくる。

委員：ピッコロは連携できる子育て支援課がある。事務局となるような柱が必要である。

委員：ガイドを設置するとしても、なにをガイドするのかが明確ではない。観光課を設置するよりも係の設置でも良いと思う。

委員：この提案は中心となるセクションがなければならない。市の意識としてどう考えているのか。

事務局：市の魅力を内外に積極的に発信していくのが課題である。しかし職員体制などの現状から、多くの課や係を設置出来ない組織上の制約もある。課題は見えているので、なるべくコンパクトな組織で対応しなくてはならない状況である。現状では魅力の発信が不十分であるとも考えているので、案の段階であるが、今後発信していく課を横断するような会議体を構築し、シティーセールスを行っていくことで市長へ提案した。市の魅力発信は観光資源のみではなく、緑の多さ、子育てのしやすさ、暮らしやすさなどを実際に感じてもらえるような施策を行わないアピールしていくことである。

委員：駅前に情報サービスが発信出来る場があれば良い。

委員：単独で観光課を設置するのは難しいので産業振興課に観光の文字をつけることにより、一元的に観光を兼ねると考える。

委員：商店街の空き店舗や空き地を利用して、情報発信する場を作るのも良いと思う。

委員：市だけではなく、商店街や商工会が連携しなければ実現は難しいと思う。

委員長：提案者に回答するにあたり、このまちづくり委員会の考えをまとめた。市内を歩いて景観を楽しむというだけであれば、お金がかからないが、産業をからめると「お金を使う観光」となる。今回市の方でシティーセールスを行っていく話があり、また後期基本計画が平成27年度で終わるので、次の基本計画でこの観光について盛り込んでくれるようまちづくり委員として訴え、関係所管で話し合える場を提供してもらおうよう依頼したい。提案者へは回答を行い、その先は観光課の在り方、設置などについて提言したい。

委員：このまま、提案にもっていくのも消化不良と感じる。一度各委員の考

え方をとりまとめて、もう少し煮詰めても良いと思う。

委員長：提案者へこの案件についての長期間話し合っているため、一度進捗状況を伝える旨も含めて早目に連絡したい。次に提案「猛暑避難場所の運営の見直しを！！」について話し合っていきたい。

委員：市報に記事の掲載があったので、高齢支援課に電話したところ、老人いこいの家は土日シルバーに委託しているので土日の開放はしていないとの話であった。

委員長：施設によって担当部署が違う。個々に今年の猛暑避難所対策はどうしていたのか、とのヒアリングはどうか。

事務局：現状行なっているなかでは、猛暑避難所を新たに設置したり、避難所としての特別な事務を行なっているのではなく、酷暑の際に体調が悪くなった様な場合には各施設の開館時間の範囲で自由にお立ち寄りいただき休んでいただくよう呼び掛けているものである。

委員：西友4階のエレベーター前の椅子が無くなって、年配の方々が不便していた。暑さ対策ではなく色々なケースの一時避難所も必要なのかと感じた。

委員長：親切のために置いてあるが逆にマイナスに働いたため、撤去になったと考える。

委員：図書館の椅子はホームレスの方が居座ってしまうケースもあるので、一時的に休む場所であるなら、設置も工夫しなければならない。

委員長：今後地球温暖化で、暑さが続くと今後、また同じような提案が起これるので、より慎重な審議を行っていきたい。

委員：野塩団地の老人いこいの家は団地の階段ごとに休憩として使用して下さいの周知はあったが、まだ周知が足りなかった面もあると思う。

委員長：土日酷暑の際に市役所に電話するとどのような対応がされるのか。

事務局：土日は職員はおらず、宿直が対応している。お住まいの地域を伺い、近くの公共施設を案内する対応であると考えます。

委員長：この提案については提案者への回答で次回案を作ってくる。もう少し観光について話し合いたいが、最終的には市長へは提言とし、小委員会を設置しても良いと思う。

委員：委員の中には農家の方や商工会の方もいるので小委員会メンバーもよいのではないかと。

委員長：小委員会については次回決めたい。次に提案「清瀬情報誌の発行配布を！」について審議したい。

委員：営利目的とせず、実費程度だとよいと考える。

委員：情報誌をまとめるとなると一冊の本になるのではないかと。パンフレットを集約して本にするのはどうか。

委員長：これが誰を対象とした冊子であるのかがポイントである。

委員：値段の設定もなかなか難しい。

委員長：観光課提案の中にこの提案も取り入れることも考えている。次回以降
審議を続けていく。

次回1月28日、中清戸地域市民センター会議室1にて14時より行う。